

ホームヘルパー のつとめ in 京都 2010

今こそ声を上げよう。利用者や介護家族、ヘルパーのために
- 介護保険制度 10 年目の見直しと

ホームヘルパーの役割を考える -

介護保険制度がスタートして10年目を迎えています。制度発足の理念であった「介護の社会化」や「利用者本位」は実現できているのでしょうか？また、在宅介護の柱といわれるホームヘルパーの役割はどうあるべきでしょうか？そんな中、今年もヘルパーのつとめを開催します。ひとりぼっちで悩まないで！私たちヘルパーが、みんなでつながり、学び、交流し、生きがいをもって働き続けられるようにしていきましょう。今年のホームヘルパーのつとめも魅力満載ですよ。

日時: **11月21日** (日)

午前9時30分から午後4時30分

(受付は9時15分から、二階ホールにて)

会場: **キャンパスプラザ京都** 京都駅前 075-353-9111

右の地図を参照して下さい。

参加費: **1000円(資料代)、弁当: 600円(事前予約必要)**

実技講座は別に500円、

日程: 午前 - 全体集会(4F 第2講義室)

午後 - 5分科会・2実技講座(裏面、参照)



午前の部 全体会 9:30開会 4F第2講義室

記念講演

「ここまでできるホームヘルプサービス」

講師: 日下部 雅喜さん(大阪社保協介護保険対策委員)

「同居家族がいる場合は生活援助ができない」「散歩同行が禁止されている」など自治体のローカルルールによる制限によって、利用者の生活に真に必要なサービスが提供できない場合が見受けられます。この問題について大阪社保協とよりよい介護をめざすケアマネージャーの会は全国に先駆けて自治体の対して粘り強く取り組まれて、今年の5月に「ここまでできる！ホームヘルプサービス」を出版されました。介護保険の改定を前にして「介護保険でホームヘルパーはここまでできる」事を具体的な例で語ってまいります。

現場からの実態報告

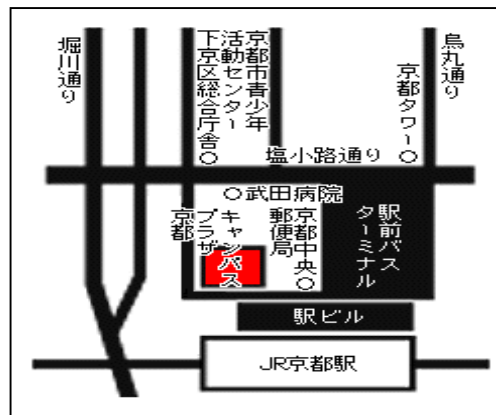
ヘルパー、ケアマネ、利用者などから実態を報告してまいります。

ヘルパーの医療行為実態調査報告

報告者: 篠崎 良勝先生(八戸大学教授)

たんの吸引や経管栄養など医療行為が介護職でも認められる状況にあります。実施については様々な問題もあります。篠崎先生が行った実態調査結果を報告していただきその問題をみんなで考えます。

ヘルパーアピール採択



JR・近鉄一京都駅から、徒歩5分

駐車場は、キャンパスプラザにもありますが、台数は限られます。京都駅ビル駐車場など、近隣の駐車場など、各自の責任でお願いします。2輪車の駐輪場もありますが、台数に限りがあります。駐車禁止取り締まりも強まっています。

なるべく公共交通機関での参加をお願いします。

主催・京都ヘルパー連絡会

京都市中京区壬生仙念町 30-2 ラポール5F 京都ヒューマンユニオンセンター 気付

TEL 813-2028 FAX 813-2048 E-mail: kyoto-human.u@labor.or.jp

後援: 京都新聞社会福祉事業団(予定)・京都社会保障推進協議会

協賛: ホームヘルパー全国連絡会

午後の部 分科会・実技講座 13:00～16:30

分科会・実技講座の会場は当日連絡。午後からも受付は、2Fホール前です。



1) ここまでできるホームヘルプサービス

助言者：日下部 雅喜さん（大阪社保協介護保険対策委員）

介護保険改正の度に、同居家族の生活援助、院内介助など訪問介護は制限されてきました。分科会では法令の解釈や適切なケアマネジメントを行う事により利用者の生きた実践例を取り上げながら、ホームヘルプサービスにおけるヘルパーの役割を考えて見たいと思います。

2) ヘルパーと「医療行為」

～実態をみつめ、ヘルパーの役割を考える～

助言者：篠崎 良勝先生（八戸大学教授）

医療の必要な在宅の利用者さんが増えています。安心して暮らせない利用者さんと家族の声！国は、ホームヘルパーにも医療行為を認める方向での議論を進めていますが、ヘルパーはどうすればいいのでしょうか？ヘルパーと医療行為の実態調査の報告を受け話し合しましょう。ホームヘルパーの役割は一体何か？このままでいいのか？

3) 認知症をもつ人に安心した暮らしをしてもらうために

助言者：宋 仁浩先生（北山通ソウクリニック院長）

認知症をもつ利用者と言ってもいろんなタイプがあり、行動障害の表れ方や対応方法も様々です。訪問先でうまく対応ができず、落ち込んでありませんか？利用者や家族にどのように対応し、コミュニケーションを取ればと悩んでいませんか？日々の悩みを出し合いながら認知症について学習し、理解を深め、専門の先生のアドバイスを聞きながら介護のポイントを見つけていきましょう。

4) どんな病気？どんな気持ち？～疾病の理解と利用者の思いを知ることで変わる重度者への支援～

助言者：西尾 圭子さん（難病ケア研究所「訪問看護ステーションにしお」所長）

パーキンソンやリウマチ等の進行性難病、頸損や脳性まひ等の重度障がい、筋ジストロフィーとALSの違いって？素朴な疑問への答えから、末期がん等のターミナルケアにおける心構えまで、利用者の思いに寄り添う支援とは？経験豊富な訪問看護師と、当事者である助言者を交えて、皆で語り、学び合しましょう。

5) ヘルパーのしゃべり場

助言者：石田 一紀先生（京都女子大学教授）

6) もっと学びたい実技講座 A 「排泄ケアの実際」

講師：松田ひろ子さん（西陣おたっしゅ本舗） 定員 20 名

漏れないオムツ＝良いオムツと皆さん誤解していませんか？排泄のメカニズムを始めケアに必要な用具や用品の選び方、実際にオムツを使用して学びます。
*実技講座では参加費以外に講座費用として¥500 円徴収します。

7) もっと学びたい実技講座 B 「介護技術＝基本編」

講師：鎌田荘平さん（大阪医療福祉専門学校） 定員 30 名

設備の不十分な在宅の現場で役立つ介護技術を学びます。

*当日は動きやすい服装と靴でご参加下さい。

*実技講座では参加費以外に講座費用として¥500 円徴収します。



どなたでも参加できます！

ヘルパーのみなさんはもとより、事業者の皆様、行政関係者の皆様、ケアマネやサービス提供責任者の皆様、施設の職員の皆様、介護関係の仕事に就きたいと考えている皆様、利用者の皆様、家族の皆様、どなたでも参加を歓迎します。

* 参加費は、当日徴収。申し込みは、表面の連絡先まで、FAX、郵便のいずれかで。

* 参加証は送付しません。先着順受付、定員オーバーの場合、こちらから連絡します。

ホームヘルパーのつどい in 京都 2010 参加申し込み書

名前	女・男	職種		
連絡先住所		Tel Fax		
事業所名		Tel Fax		
参加形態	午前のみ、午後のみ、終日、	分科会希望（いずれかに○を） 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7	弁当（お茶付） 600 円	要・不要